

磐崎小学校だより

いわき市立磐崎小学校 文責：校長 圓谷 貴



師走、学習のまとめ・家庭生活充実の時期

12月となりました。平成最後の大晦日となります。子どもたちには、全校朝会で「楽しいことがたくさんある冬休みに入るけど、その前に学習のまとめやお家のお手伝いなどをしっかりやるようにしましょう」とお話しました。

子どもたちには、時間を上手に使って、有意義な時間を過ごせるよう励ましていきたいと思えます。ご家庭でもご支援の程、よろしくお願いいたします。



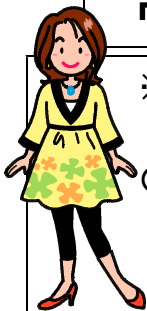
授業日数の減少・授業時数の増加に備えて

来年（2019年）は新天皇即位にあたり、連休が増えるために授業日数が少なくなることが予想されています。そして、再来年（平成2020年）には、新学習指導要領の全面実施により、授業時数（中・高学年で20時間程度）が増加します。

どの小・中学校でも、学年によって授業時数が決まっているため、予定された時数は必ず履修させなければなりません。特に中・高学年については、時間割等の見直しを図り、授業時数を確保していく必要があります。子どもたちも忙しくなりそうです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ワンポイントアドバイス⑬ ～人間の発達段階～

※ 青年期以降の発達段階を簡単にご紹介いたします。今回で人間の発達についての話は終わりとなります。ご覧いただき、ありがとうございました。



○ エリクソンの発達段階6：成人期（親密性 v s 孤立）
初期成年期は、就職して結婚するまでの時期です。発達課題は親密性 v s 孤立です。

親密性とは、自分の関わる物事に親密さを感じることであり、他人（異性）と互いに親密な関係性を築くことです。

○ エリクソンの発達段階7：壮年期（生殖（世代性） v s 自己吸収（停滞性））
壮年期は、結婚して子どもを産んで育てていく時期です。親として過ごす時期とも言えます。発達課題は世代性 v s 停滞性です。

世代性とは、親密な存在や次の世代を育てていくことに関心を持つということです。

○ エリクソンの発達段階8：老年期（自己統合（統合性） v s 絶望）

老年期は、子育てが終わり、退職して余生を過ごす時期であり、身体の老化と直面し、死と向き合うことになる時期です。加齢に伴って認知機能も衰えていき、認知症などの問題を抱えることもあり、それらとどう向き合うかが問われます。

発達課題は自己統合（統合性） v s 絶望です。

自己統合（統合性）とは、老年期までの各発達段階で獲得してきたものを振り返ってみて、自分の人生を受け入れて、ポジティブに統合することです。



※ まとめ

それぞれの発達段階には成長や健康に向かうプラスの力（発達課題）と、衰退や病理に向かうネガティブな力（危機）がせめぎ合っており、その両方の関係性が人の発達に大きく影響すると仮定しています。つまり、プラスの力とマイナスの力は、人生の全ての段階でせめぎ合いを続けており、各段階において両者のバランスをうまく保ちながら、プラスの力がマイナスの力より強くなるような経験を積み重ねていくことが大切だということのようです。